

# 『まだ、法学を知らない君へ』

---

(SK・その他)

大学で司書をしており、法学部の学生、教員に接することが多いです。主に一般教養の科目を履修している1, 2年生のレファレンスに役立つのではないかと思います、本書を手に取りました。

取り上げられている13のテーマは、昨今ニュースで取り上げられることが多いものばかりです。例えばSNS、同性カップル、非正規雇用、サイバー攻撃、こういったテーマの本を探しに来る学生も目立つので、知識を深められたことは、学生への対応に役立つと考えています。本書は要点がコンパクトにまとめられ、ひとつの章、節の分量も少なめ、文章も平易で、初学者や法律を学んだことがない者でも読みやすくなっています。末尾の事項索引も便利ですが、もう少し文献案内があれば…と思う章もありました。

私自身の話になりますが、複雑な要因が絡み合った問題が次々と報道される中、問題のポイントや全体像の把握すら難しく感じていましたが、そういった問題が「法学」を糸口として筋道を立てて解きほぐされており、スッキリしました。いわゆる社会問題に対して、フラストレーションが溜まっている方にもお勧めしたいと思います。

「まだ、法学を知らない君」は、学生だけではないのかもしれませんが。